



日本共産党飯能市議会議員

滝沢おさむ

子どもたちも高齢者も 安心して住み続けられるまちへ

みなさんに支えられて5期20年間、市議会議員を務めさせていただきました。この間、東日本大震災、大雪、台風、新型コロナなど様々なできごとがありましたが、みなさんの声を市政に届け、市民生活を守るために奮闘してきました。私たちが実施したアンケートには、「生活が苦しくなった」「子育てが大変」「老後が不安」と答えています。消費税増税と新型コロナで暮らしの危機が続いています。

今こそ、暮らしと福祉・教育を守る市政が必要です。その実現のために全力で取り組みます。

市議会議員・滝沢おさむ

プロフィール……●埼玉県入間市生まれ。加治小、第一中学校、昭和第一工業高校電気科卒業。エンジニアとして工場勤務。
●2001年市議会初当選、飯能市議会総務委員長、経済建設委員長歴任、現在総務教育委員。都市計画審議会委員。
●加治東小学校PTA会長、加治東学童クラブ保護者会長など歴任
●趣味…ランニング、サイクリング
■岩沢在住 TEL・FAX 042(972)3875

コロナ危機から いのち、暮らしを守る市政に



教育長に申し入れ・懇談



経済対策で3部長に申し入れ

力をあわせ実現めざします

- 新型コロナウイルス感染拡大から、市民の命、暮らし営業を守ります。
- 災害に強い街づくりをすすめます。
- 安心して住み続けられる「住民の足」を確保します。
- 元加治駅南口の早期開設をすすめます。
- 地域経済と雇用を守ります。
- 子育てしやすい街づくりをすすめます。
- 子どもたちが健やかに育つ教育環境をつくります。
- 高齢者を支える医療・介護の充実をはかります。
- 豊かな自然を守り、農林業を振興します。



大久保勝市長と交渉する党議員団

新飯能

●日本共産党飯能市委員会は、滝沢おさむ市議会議員の政策と見解を発表しました。

発行・日本共産党飯能市委員会 2021年 春号 飯能市本町20-9 ☎042-973-1091 FAX973-1079

実現します 市民の声が生きる市政



伊藤岳参院議員と現地へ

メガソーラーから市民の里山を守れ

飯能市阿須の市有地、山中（やまなか）土地を、市は「地方創生」に資する有効活用事業として、サッカー事業者に貸す事に。しかし、実態は約13ヘクタールの木々が伐採され、ほとんどは太陽光発電用地に。市民団体が自然を残せと集めた署名は13,500筆にもなりました。私は「希少動植物が現存する自然を壊すべきではない」と毎回質問、地域住民の皆さんからも事業に反対の意向が示されています。住民にも合意の得られない事業は即刻中止し、豊かな里山の自然を共有し次世代に繋げる事が「地方創生」となります。

地域住民の足（仮称）お出かけワゴンが実現

私たちのアンケートのお答えに、「高齢になり車の運転に不安を感じるが、代替となる交通がないから免許の返納もできない」「病院や買い物に出かけるのにタクシーを使うと高額になるので、地域を回る小さいバスなどが欲しい」との多くの意見が寄せられています。交通不便地をなくし、どこに住んでも安心して暮らせるよう求めていましたが、精明地区と加治地区で（仮称）お出かけワゴンが実現します。

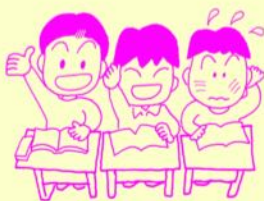


地域の声を議会で取上げてくれる滝沢さんは、交通不便地の実態もよく分かっていて、アンケート調査などに取組み、早い実施ができればと頑張っていました。実現できてうれしいです。

渡辺角治（平松在住）

子どもたちが安心して学べるように

小学生は1、2学年は35人学級が実施されていますが、3年生からは40人学級となっています。政府は2021年度から5年間かけて小学校の35人学級を実施するとしています。しかし、子どもたちのためには、早急な実施が必要です。また、中学校も少人数学級にすることが求められています。市議会として国へ「意見書」を上げるよう求めています。



安心して過ごせる学童クラブへ

共働き世帯などの小学生が安心して放課後を過ごせる場所が放課後児童クラブです。この間、利用者が増加し施設を増やす事や増築を希望するクラブが増えていました。市も整備を進めつつありますが、間に合わない状況も出ています。コロナ禍でも十分なスペースがとれるよう施設整備を求めています。



区画整理は生活優先の整備に

長期化する双柳南部区画整理事業は、令和元年より事業継続地区と除外地区を設けての整備となり、地権者への個別説明も行われました。住民の皆さんの今後の生活設計ができるよう、整備方針など、丁寧な説明を行っていくよう求めています。また、岩沢地区の下水道幹線整備は終わっていますが、枝線の整備が進められず、いまだに利用できない場所が点在しています。

区画整理問題に取り組んできた経験を生かし、狹隘道路の整備や下水道整備に引続き取り組んでいきます。

岩沢に居住し、どうしても早く住環境の整備ができるかと、事業見直しの提案など区画整理問題に取り組んできた滝沢さん。早く住民が下水道を使えるように、そして、緊急自動車も走れるような整備を期待します。

田辺昇（岩沢在住）

